

## 株式会社裕生 様

# 健康/安否報告を即時にアプリ化、全社員のデジタル活用意識が向上

## 最短1時間で業務アプリを自社開発し、BCP強化やSDGs対応を加速

ビルメンテナンス業界の老舗として、オフィスビルや商業施設の設備管理、清掃管理、保安警備事業を展開している裕生。豊富な経験と高い技術力に裏打ちされたサービスが高く評価されている。社会全体でDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速する中、同社の業務はアナログなものが多く、デジタル化が遅れていることに危機感があった。まずは身近な業務からデジタル化して、成功体験を積み上げ、デジタル活用意識を高めたい。そう考えた同社はPlatioを活用。健康管理アプリと安否確認アプリは3日、業務改善提案アプリはなんと1時間で作成した。

### 課題・目的

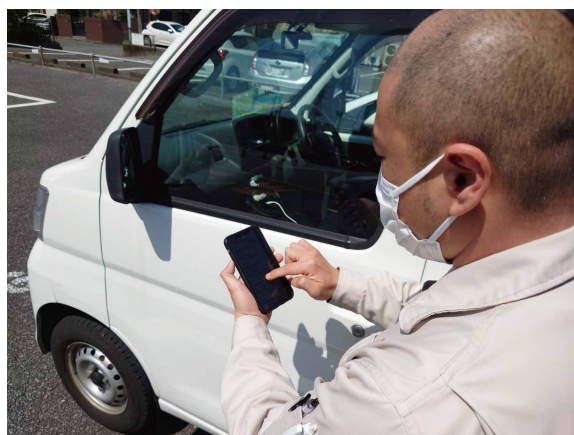
- これからのビジネスにデジタル技術は不可欠。社員のデジタル活用意識を高めたい
- BCPのために毎日の体温や体調などの健康管理、災害発生時の安否確認を効率的に行ないたい
- SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが企業の存続を左右するようになるとの危機感がある。対策を講じておきたい

### 選定ポイント

- テンプレートが豊富で、開発スキルがなくても様々なアプリを簡単に作成できる
- 現場が地下にあり電波環境が悪くてもオフラインでアプリを利用できる
- 明確な価格設定で安心して導入できる上、スモールスタートが可能
- 操作や使いこなしに悩んだ時や要望を伝えたい時に、アステリアの担当者が柔軟に対応してくれる

### 効果

- アプリで報告することが日常的になり、社員のデジタル活用意識が向上。社員発の新アプリの提案にもつながった
- プルダウンなどを駆使して「10秒で報告できる」アプリを作成。使いやすさがアプリの定着につながり、報告率98%以上を継続している
- 心身の不安を気兼ねなく報告したり、フォローできる体制が整備。健康や福祉を掲げているSDGs対策につながっている



体調管理アプリ（入力画面）



安否報告アプリ（入力画面）

現場へ直行する前にスマホから手軽に検温結果など健康状態を報告  
発熱者や陽性者があった場合は管理者へアラートが送られる。

毎日使うアプリから震災時の安否報告を行う。（BCP対策）

### ユーザーのひと言



Platioに期待したのは「イグニッション（点火）」ツールの役割です。まずは私が主導してアプリを開発し、社員のデジタル活用意識を高めよう。そう考えて取り組みを開始しましたが、すぐに社員の発案による「業務改善提案アプリ」が生まれました。管理を委託しているビルや施設トラブルにいち早く気付いた際や、改善提案などを報告し、関係者で素早く共有・対処できるアプリです。アプリはわずか1時間で開発でき、その日から運用しています。Platioはこのようなアイデアや気付きをすぐに形にできるのがメリットです。今後は他の業務や拠点に展開して、積極的に活用していきたいと考えています。

株式会社裕生 専務取締役 根本 将 氏(左) 業務部 次長 高田 和浩 氏(右)

### User Profile

# YUSEI

所在地：東京都中央区銀座1丁目11番3号

会社概要：設備管理、清掃管理、保安警備を中心とするビルメンテナンス業

従業員数：550名(令和3年10月末現在)

URL：https://kk-yusei.jp/